

生産性向上支援訓練の活用事例

《生産管理分野》

訓練コース名 【ものづくりの仕事のしくみと生産性向上】

【会社概要】 製造業（射出成型金型・金属・プラスチック加工などの製造）

訓練受講のきっかけ（経緯）

同社には中途採用の社員も多く、ものづくりの基本を十分には教育できていなかった。また、改善活動については自分の作業だけでなく全体の中での位置づけの視点を持つと同時に、協同の考えなどを学んでほしいとの思いから、当コースの受講に至った。

【訓練のねらい】

- ① 製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解する
- ② 製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する

訓練の実施状況

訓練の概要

- 平成30年10月に1回、6時間。中堅層の生産工程担当中心の計10名が受講。
- 主な内容
 - ①ものづくりの仕事の流れ
 - ・製造業を取り巻く環境としくみ
 - ・企業の目的
 - ②ものづくり現場の現状と課題
 - ・今求められるモノづくり
 - ・生産性向上のポイント
 - ③ものづくりに関する業務改善
 - ・現場改善の進め方
 - ・ムダ発見と廃除
- 【演習】
 - ・ムダ発見と改善演習
 - ・問題解決の手法



受講した感想

【受講者の声】

- 業務を行うにあたって何となく不便だとか効率が悪いと思っていた事をこの講習で整理できた。
- ムダを見つけていく事が作業効率を上げていく近道であるという事が分かった。現場で活かしていきたい。
- 汚い現場では仕事はかどらずミス等が増えるという、5Sの大切さがわかった。

【事業主の声】

- 今回の訓練での生産効率の向上、コストの低下など社員の意識面での変化が伺え、今後その成果を期待したい。
- これまで今回のような訓練の機会が少なかったが、今後継続的な訓練の実施を検討していきたい。